

学びに臨む姿勢を大切に

～全校朝会 校長先生の話より～

先日、高等学校の校長先生方と話す機会がありました。それぞれの高校で入学志望者に求めるものは少しずつ違いがあっても、概してまとめると「明確な目標をもって絶えず努力する人」「中学校までの基礎学力をしっかりと身に付けている人」ということでした。その言葉を受けて、今日はこれからの進路選択について話をしようと思います。

まず、多くの方は中学校を卒業した後、高等学校（普通科高校、専科高校）や高等専門学校（高専）に進学しています。そこではこれまでと同じように学力を身に付けて大学進学を目指したり、専門内容を学んで資格を取り、社会の即戦力として活躍できるよう準備したりする学びを行っています。

それ以外でも、中学校卒業後に専門学校に入学をして一芸を磨く人や、伝統工芸をはじめ、職人の道を志して先輩（親方）の下に弟子入りする人もいます。数は少ないですが、就職して社会に出る人もいます。めずらしいところでは、私の教え子で声優を目指して中学校からそのまま専門学校に進んだ生徒もいました。

また、高校に進学せずに高認（以前の大検）取得を目指し、大学進学に挑戦する人たちもいます。ただ、この選択は教えられる・習うのではなく、様々な誘惑に負けず、自分で学んでいかなければならないので、大変強い意志がなければ非常に難しい進路になります。

しかし、高校や大学を卒業して世の中に出ても、ある程度のコミュニケーション能力がなければ社会では通用しません。高い学力を有して輝かしい学歴であったとしても、周囲と協調性をもって物事に向かう力は必要です。最近ではAIのめざましい発達が報道されていますが、効率性だけでなく、少数意見への配慮や細やかに様々な調整を行うことができるのは、やはり人の力だと思います。

そのようなことを考えたときに、目標の実現に向かって、ときに仲間と助け合いながら、積極的に学びに臨む姿勢が大切です。授業のとき進んで挙手発言していますか？ グループ学習のとき誰かが何か発信することを待っていませんか？ 分からない内容があるのにそのまま流していませんか？ そのような姿があれば改善してみてもどうでしょうか。



最後になりますが、これから3年生は進路を定め、その達成に向けて挑戦が続いていきます。2年生は中学生の折り返しを過ぎました。来年の今はあなたたちです。1年生も2年後には同じ立場になります。ですから、1, 2年生も目標の実現に挑む3年生の後ろ姿を見ながら、進路について自分自身のこととして考えてみてください。この溝辺中学校でみなさんが学びに向かう集団として相互に高まっていく姿を期待しています。



😊 たくさんのスマイルをありがとう 😊

